



# “豊栄”を考える



特集号

発行所  
新潟県  
豊栄市役所

印刷所  
(株) 鬼木印刷  
新潟市本町2 電話2-2234

「市道は穴ほこだらけ」  
「下水はなっていない」  
「プレハブ教室を解消して」  
「保育所が足りない」  
「市民グラウンドがほしい」  
「農業の先行き不安」  
「大雨が降ったらどうなる」  
「……………」

不満や要望はまだまだ、たくさんあります。でも、今は苦しくても、問題をひとつひとつ解決して、明るい張り合いのある未来を夢みようではありませんか。

理想的な郷土「豊栄市」を造るには、みんながどんな努力をすればよいか。

としのはじめに、あなたからもこの問題を考えていただきたいのです。

七人の市民の方からお集り願って、市政の問題点や市の将来展望などについて市長と話し合ってくださいました。

『市長と語る会』出席者

—— 順不同 敬称略 ——

前田甚松(六十四歳) 大瀬

柳、無職

長谷川勇(二十八歳) 内沼

農業

松田ヒサ(三十二歳) 早通

南、主婦

齋藤雪枝(三十七歳) 上黒

山一区、主婦

渡辺喜三男(三十八歳) 内

島見、農業

山田一弥(四十五歳) 中大

口、会社役員

柿本六郎(三十八歳) 早通

南、会社役員

市長 石井耕一

司会 豊栄広報編集室

とき 昭和四十八年十一

月十八日午後一時

ところ 市役所議場